

18. 福岡県域において発生した自然毒食中毒事例

保健科学課 赤木 浩一

県内保健環境研究機関合同成果発表会

日本国内及び福岡県域で発生した食中毒は減少傾向であるが、自然毒による食中毒は変化がない。自然毒食中毒事例には、地域による傾向があり、東日本では植物性食中毒が多く、西日本では動物性食中毒が多い。動物性食中毒の中ではフグによるものが7割であり、福岡県域においても同様であった。福岡市においては、過去に発生した自然毒事例をもとに対象食品を選び分析方法の確立を行ってきた。今後は、啓発活動を行政部署と連携することに加え、未来を想定した病院物質の分析方法の確立を進めていきたい。